

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ロート製薬株式会社（証券コード:4527）

【据置】

長期発行体格付 **A+**
格付の見通し **安定的**

■格付事由

- OTC 目薬や基礎化粧品で国内首位級。「肌ラボ」や「メラノ CC」など、数多くの有力ブランドを有する。製薬企業としての技術力やブランド力を生かした製品開発、マーケティングが強みである。スキンケアが売上高の約6割を占める。アジアなどでの海外展開にも積極的で、海外売上高比率は約5割。近年は、健康寿命への貢献と新たな成長領域の確立を目指している。M&A の活用などにより、内服・食品を第三の柱として強化するほか、再生医療や医療用眼科領域に進出。24年6月には、三井物産らと共同で、シンガポール漢方薬製造販売企業 Eu Yan Sang International Ltd. (EYS) を買収した。
- 当面、業績は堅調に推移する見通しである。ニーズに合致した製品展開や効果的なマーケティングにより、国内外の販売はおおむね順調である。大型投資となった EYS の業績貢献も期待される。中東情勢の影響などに留意が必要とはいえ、スキンケア、スキンケアの成長持続と、アジアを中心とする内服・食品の伸長が見込まれる。また、将来に向けた投資負担はありつつも、現状程度の営業利益率を確保できるとみられる。さらに、良好な財務内容が悪化する懸念は小さい。以上より、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 国内では、「肌ラボ」や「ロート V5 粒」を中心に、販売はおおむね堅調である。ヘアケアへの参入や「オバジ」の国内商標権取得、製品リニューアルなど、成長に向けた展開を進めており、今後の販売力強化が見込まれる。また、メディカルについては、開発パイプラインの進展とその収益化が中長期的な注目点である。他方、海外は、アジアを中心とする成長トレンドに変化はない。中国の底型い推移に加え、東南アジアの継続伸長が予想される。EYS についても利益貢献を始めており、シナジー効果を引き続き確認していく。
- アジアのけん引により、26/3期営業利益は411億円（前期比7.5%増）となった。27/3期営業利益は438億円（同6.5%増）の計画である。今後もアジアを軸とする成長が続くと予想される。他方、26/3期末の自己資本比率は62.1%、実質無借金など、財務健全性は高い。今後も財務リスクに配慮しながら、成長投資と株主還元に対応していくものと想定している。

（担当）本西 明久・安部 将希

■格付対象

発行体：ロート製薬株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年5月21日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：本西 明久
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「医薬品」(2024年6月3日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) ロート製薬株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル